

荒川大橋

～埼玉県熊谷市の南部に位置する橋～

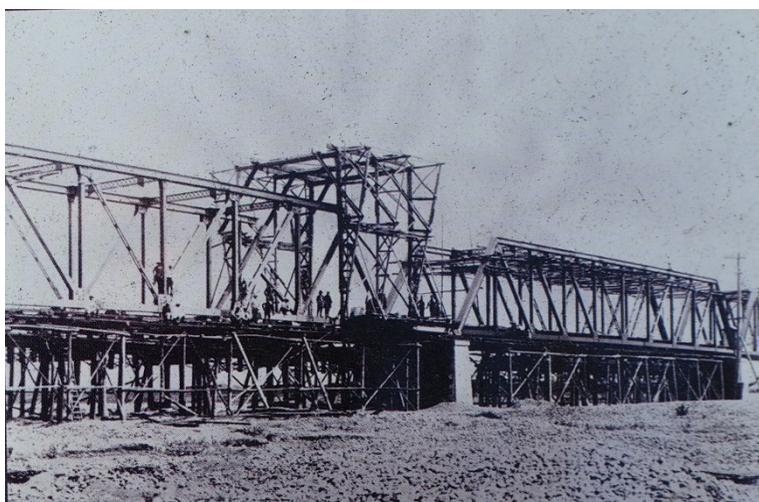
かつては、全長500mの県下一を誇る「九連トラス橋」が架かっていました。



荒川大橋



かつての九連トラス橋



1922（大正11）年～1924（大正13）年 九連トラス橋の工事

荒川大橋

荒川大橋は、埼玉県熊谷市に位置し、荒川を渡る国道407号の橋です。

かつて熊谷宿と村岡村の間には、木橋が架けられていましたが、1925（大正14）年、全長500mのモダンな「九連トラス橋」が架橋（かきょう）されました。当時の橋りょうは、市中心部の重要橋りょうに対しては十分な装飾を行い、それ以外の橋りょうについては簡素な美を求める特色がありました。

現在のけた橋は、1980（昭和55）年に架けられました。荒川大橋の橋門構（きょうもんこう）についても、全体的に欧米の様式で細部にまで配慮がなされており、新しい都市空間を創造する意欲にあふれていた、当時の面影を感じ取ることができます。

▶ 荒川大橋のあゆみ

かつて熊谷宿と村岡村の間には、木橋が架けられていました。しかし、幾たびの洪水による破損、交通量の増加などにより度々架け替えられ、永久橋が望まれていました。

そして1925（大正14）年、全長500mの県下一を誇る「九連トラス橋」が架橋されました。さらに1980（昭和55）年に新橋が架けられました。

年月	荒川大橋における出来事	年月	荒川大橋における出来事
明治15年	はじめて橋を架設し交通の便を図る。	大正14年4月	「九連トラス橋」竣工。
明治41年9月	「木橋」架橋工事起工。	昭和29年3月	「九連トラス橋」両側にコンクリート橋の継足し。
明治42年4月	「木橋」竣工。	昭和38年4月	「九連トラス橋」中央トラス二連架替。
大正3年	洪水により中央部流失。	昭和39年10月	「九連トラス橋」隣に「新橋」起工。
大正4年12月	「中央部二連トラス橋」起工。	昭和44年9月	「新橋」竣工。複線となる。
大正6年10月	「中央部二連トラス橋」竣工。	昭和50年	新たに「新橋」起工。
大正10年	大洪水により両側木橋部を流失。	昭和55年3月	「新橋」竣工。上下線とも新橋、複線となる。
大正11年1月	「九連トラス橋」起工。	昭和56年3月	「九連トラス橋」撤去。

荒川大橋年表

▶ 荒川大橋トラス広場

荒川右岸側には、荒川大橋トラス広場があり、かつての「九連トラス橋」の一部や荒川大橋の歴史を伝えるパネルが展示されています。

明治の文明開化と共に始まった日本の近代橋りょうの先駆けともなる歴史的価値のある構造物を残すことで、荒川大橋をはじめとする昔人の歩んできた荒川の歴史と、当時の橋りょう技術のすばらしさを誇り伝えるものとして、今もなお、荒川の見えるこの地に保存されています。



荒川大橋トラス広場

コラム 荒川に架かる橋

荒川には、荒川大橋以外にも土木学会田中賞・土木学会デザイン賞（最優秀賞）・グッドデザイン賞など数々の賞を受賞している雷電廿六木橋やアニメや映画の舞台としても使用される秩父橋（旧秩父橋）、川幅日本一の付近に架かる御成橋、などたくさんの橋が架けられています。



秩父橋

アクセス

荒川大橋

交通：秩父鉄道秩父本線「上熊谷駅」下車、徒歩約10分

住所：埼玉県熊谷市弥藤吾



荒川大橋

